

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	プレゼンテーション	吉田 直木	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

討論の為の課題を中心にして発言と意見交換を活発に行える姿勢を養う授業を行う。グループでイベントの企画・制作・進行管理に携わる姿勢を養うこと。クラス全員のモチベーションの向上と平均化に留意します。また、イベント業界全般に関わる、視野の広い人材育成に努力します。

【講義概要】

自分の意見を積極的に発言擦ることと、人との対話能力を養う基礎訓練。またイベントの企画を考える上でどんな

コンセプトが必要なのか、広い視野を養いつつアイデアを出す訓練を繰り返し行います。また、最近一般的になっているインターネットやスマートホンを情報発信の為のメディアとして取りあげ、情報リテラシー問題を取り上げて論議します。イベント広報についての話につなげて、情報発信をどうしていくべきかを論じます。

回	授業計画及び学習内容
1	コミュニケーションとプレゼンテーションについて
2	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート①
3	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート②
4	働くことについてディベート①
5	働くことについてディベート②
6	報告・連絡・相談(ほうれんそう)について
7	イベントの企画とコンセプトについて講義
8	まとめ①
9	ディベート課題1(資料収集)
10	ディベート課題1(発表)
11	コミュニケーションとメディア論(資料収集)
12	コミュニケーションとメディア論(発表)
13	ディベート課題2(資料収集)
14	ディベート課題2(発表)
15	自己PRについて
16	就職についての意識調査アンケート①
17	就職についての意識調査アンケート②
18	まとめ②

【成績評価方法】

授業内において、議題内容に合わせてディスカッションを行い、その結果を毎回ミニレポート形式にして提出してもらいます。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

課題に対して各自調べ学習を行ってからディスカッション形式で意見交換を行います。美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネスマナー	相川 奏絵	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人の心構えや就活マナーについて学び、実践力を身に着けるとともに、マナープロトコル検定3級取得を目指すします。

【講義概要】

各項目において、グループごとに調べたことを発表していくグループワーク方式で授業を行います。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・研究テーマ抽出と役割分担
2	敬語の使い方①
3	敬語の使い方②
4	メール・手紙の書き方
5	電話対応
6	クレーム対応
7	就活の流れと企業の選び方①
8	就活の流れと企業の選び方②
9	面接対策(身だしなみ・自己PR)①
10	面接対策(身だしなみ・自己PR)②
11	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)①
12	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)②
13	マナープロトコル試験対策①
14	マナープロトコル試験対策②
15	マナープロトコル試験対策③
16	期末テストと自己分析
17	まとめ①
18	まとめ②

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して評価する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

学生が興味のあるテーマごとにチームに分かれ、調べ学習から発表までを行う。
担当教員は、長年講師・研究者として、学校教育及び企業向けに従事し、且つマナーに関する上級資格を多数保持し、美しい心と知性・品性を習得した人材育成に向けた授業を展開する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	舞台技術	渡邊 政美	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

業界に進むうえで必ず必要となる舞台機構や尺貫法などを学ぶ。
また、ホール管理者としての働き方を学んでいく。

【講義概要】

舞台機構や舞台の組み方(尺貫法)について、座学方式で学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	世界の劇場の歴史①
2	世界の劇場の歴史②
3	劇場の種類
4	舞台機構について(幕類)
5	舞台機構について(吊りもの関係)
6	舞台機構について(迫り・綱元・操作盤)
7	舞台機構について(反響版・框・プロセ・搬入口)
8	まとめ①
9	ホール管理とは(音響について)
10	ホール管理とは(照明について)
11	ホール管理とは(舞台について)
12	ホール管理とは(その他打ち合わせや事務的仕事について)
13	まとめ②
14	部材について(工具類)
15	部材について(平台・箱馬・開き足など)
16	ホール各所の説明(音響室・調整室)
17	ホール各所の説明(シーリング・フロント・ピンルーム)
18	ホール各所の説明(映写室・親子室・ロビー)
19	まとめ③
20	尺貫法について①
21	尺貫法について②
22	山台の組み方(基礎編)①
23	山台の組み方(基礎編)②
24	山台の組み方(基礎編)③
25	まとめ④
26	山台の組み方(応用編)①
27	山台の組み方(応用編)②
28	山台の組み方(応用編)③
29	舞台用語①
30	舞台用語②
31	まとめ⑤
32	ホールでの催し物について(音楽もの)
33	ホールでの催し物について(芝居関係)
34	ホールでの催し物について(ダンス系)
35	ホールでの催し物について(パッケージもの)
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

プロ音響データブックを使用。舞台の画像や図面を使い舞台の基礎を学ぶ。担当教員はホール管理者の照明技術者として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ミュージックセオリー	森重	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

楽典やコード進行などを学ぶことで、音楽に対する理解を深める。

【講義概要】

キーボードを使用しながら座学方式で音楽理論について学んでいく。

回	授業計画及び学習内容
1	五線譜について(五線と加線)
2	音名について(イタリア語・英語・日本語)
3	音部記号(ト音記号・ヘ音記号など)
4	大譜表について
5	小節線について
6	まとめ①
7	音符の種類・音符の長さ
8	休符の種類・休符の長さ
9	拍子とタイ
10	音の強弱
11	音楽記号(繰り返し記号、演奏記号、装飾音)
12	音楽記号(強弱記号、速度記号)
13	まとめ②
14	音階(全音と半音)
15	音階(長音階・メジャースケール①)
16	音階(長音階・メジャースケール②)
17	音階(長音階・メジャースケール③)
18	音階(長音階・メジャースケール④)
19	音階(♯と♭の調号)
20	まとめ③
21	音階(短音階・マイナースケール①)
22	音階(短音階・マイナースケール②)
23	音階(短音階・マイナースケール③)
24	音階(短音階・マイナースケール④)
25	音階(♯と♭の平行調)
26	まとめ④
27	音程とは(長音程・短音程)
28	音程とは(完全音程・増音程・減音程)
29	和音とは(長三和音・メジャー)
30	和音とは(短三和音・マイナー)
31	和音とは(増三和音・オーグメント)
32	和音とは(減三和音・ディミニッシュ)
33	まとめ⑤
34	譜面を書いてみる①
35	譜面を書いてみる②
36	総合まとめ

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学、映像鑑賞、実際のコードを聞きながら音楽に対する理解を深めていく。

担当教員は音楽教室の講師資格を持ち、専門学校講師として長年勤務されている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニク	長谷川	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | 回 | 授業計画及び学習内容 |
|----|-------------------------------|
| 1 | 自己紹介。スタッフ希望理由収集 |
| 2 | クラシックや芝居など、ジャンル別に求められるスタッフの違い |
| 3 | イベントに関わる全セクションの仕事内容講義 |
| 4 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 5 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション② |
| 6 | シミュレーションを取り上げての、予算案説明。 |
| 7 | まとめ① |
| 8 | スケジュールの作成方法 |
| 9 | 舞台で使用する道具や、寸法の説明。 |
| 10 | 平面図の見方及び、作成方法 |
| 11 | グループに分かれて「バミリ」の実践 |
| 12 | グループに分かれて「バミリ」の実践 |
| 13 | イントレ&平台等、基礎舞台作成方法 |
| 14 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成① |
| 15 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成② |
| 16 | まとめ② |
| 17 | スタッフとしての方向性議論 |
| 18 | 「譜割り」の作成方法 |
| 19 | 「譜割り」の作成 |
| 20 | 実際の楽器を使つてのローディー実践 |
| 21 | 実際の楽器を使つてのローディー実践 |
| 22 | マニピレーター、シーケンスを使つた同期の実践 |
| 23 | まとめ③ |
| 24 | 学祭へ向けての現場テクニクの復讐 |
| 25 | 学祭の反省会 |
| 26 | 「特殊効果」の種類と消防法 |
| 27 | 「特殊効果」の種類と消防法の実践 |
| 28 | クリスマスイベント 全セクション合同打ち合わせ |
| 29 | クリスマスイベント 自主企画の最終技術打ち合わせ |
| 30 | クリスマスイベント反省会 |
| 31 | まとめ④ |
| 32 | 演出で求められる「キッカケ」 |
| 33 | コンサート映像を見ての、進行表の作り方 |
| 34 | 2年生の卒業制作のための技術予習 |
| 35 | 1年間通してのまとめ及び、技術面でのプロ意識の講義 |
| 36 | まとめ⑤ |

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コミュニケーション英会話	マーク	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ネイティブの先生との会話を通じて、英会話スキル・コミュニケーション能力の向上を目指します。

【講義概要】

クラス全員と教員でグループディスカッション形式で授業を行う。簡単な挨拶から日常会話英語まで幅広く語学を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	会話・ディスカッション(挨拶編)①
2	会話・ディスカッション(挨拶編)②
3	会話・ディスカッション(挨拶編)③
4	会話・ディスカッション(挨拶編)④
5	会話・ディスカッション(挨拶編)⑤
6	会話・ディスカッション(挨拶編)⑥
7	会話・ディスカッション(挨拶編)⑦
8	小テスト①
9	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑧
10	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑨
11	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑩
12	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑪
13	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑫
14	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑬
15	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑭
16	小テスト②
17	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑮
18	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑯
19	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑰
20	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑱
21	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑲
22	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑳
23	会話・ディスカッション(旅行・交通編)㉑
24	小テスト②
25	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉒
26	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉓
27	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉔
28	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉕
29	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉖
30	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉗
31	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉘
32	小テスト②
33	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉙
34	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉚
35	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉛
36	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉜

【成績評価方法】

小テスト、前・後期テスト、出席率、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各授業でテーマとなる資料を配布し、それに関する会話中の単語や言い回しを学びます。担当教員はネイティブの英会話教員として長く勤務している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門課程	PA実習	浜田 勇太	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	実習上の注意、前期・後期発表日取り
2	PA基礎①(最低限でのBOSEセット、世の中でのPA、ケーブル巻き)
3	PA基礎②(客席の想定したBOSEセット、TBの音出し)
4	PA基礎③(CDの音出し、各種チェック)
5	PA基礎④(G.EQを使用してチューニング)
6	PA基礎⑤(マイクスタンドの取り扱い)
7	PA実践①(モニターとは)
8	PA実践②(バンド想定 of 仕込み)
9	PA実践③(マイクアレンジ)
10	PA実践④(バンド想定 of 仕込み①)
11	PA実践⑤(バンド想定 of 仕込み②)
12	PA実践⑥(サウンドチェック①)
13	セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
14	セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
15	リハーサル①
16	リハーサル②
17	GP
18	本番
19	後期に向けて
20	PA実践⑧ 3Wayシステム
21	PA実践⑨ ラージコンソール(MH4)
22	PA実践⑩ 生楽器とコンデンサーマイク
23	PA実践⑪ モニター卓
24	PA実践⑫ バンド想定
25	PA実践⑬ イントレ仕込み
26	PA実践⑭ バンド想定・転換①
27	PA実践⑮ バンド想定・転換②
28	PA実践⑯ 芝居想定(集音・タタキ)①
29	PA実践⑰ 芝居想定(集音・タタキ)②
30	PA実践⑱ バンド想定・転換
31	PA実践⑲ バンド想定
32	リハーサル①
33	リハーサル②
34	期末試験・GP
35	本番
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。
担当教員は20年以上音響技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明実習	小原 翼	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回 **授業計画及び学習内容**

- 1 実習上の注意、前期・後期発表日取り
- 2 灯体の吊り方
- 3 回路について
- 4 色について
- 5 サス・バトンについて
- 6 灯体の種類①(PARライト)・仕込み
- 7 灯体の種類②(凸・フレネル)・仕込み
- 8 灯体の種類③(ITO)・仕込み
- 9 灯体の種類④(ソースフォー)・仕込み
- 10 灯体の種類⑤(ミニブル)・仕込み
- 11 灯体の種類⑥(LH・UHL)・仕込み
- 12 灯体の種類⑦(ミラーボール)・仕込み
- 13 セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
- 14 セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
- 15 リハーサル①
- 16 リハーサル②
- 17 GP
- 18 本番
- 19 後期に向けて
- 20 スモークについて・仕込み
- 21 SSについて・仕込み
- 22 フロント/シーリングについて・仕込み
- 23 仮設電源について・仕込み
- 24 卓の説明・仕込み
- 25 イントレ仕込み
- 26 PINスポットについて・仕込み
- 27 星球/ストロボについて・仕込み
- 28 Footについて・仕込み
- 29 フル仕込み・明かり作り(パレード)
- 30 フル仕込み・明かり作り(アップテンポ)
- 31 フル仕込み・明かり作り(芝居)
- 32 リハーサル①
- 33 リハーサル②
- 34 期末試験・GP
- 35 本番
- 36 1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	制作実習	小原・山本	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
25	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物にて担当していた。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明技術 I	柳戸 勲	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

灯体や、電気基礎、業界用語についての理解。
 実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な照明のスキルを身に付け、照明に対して興味を深める。

【講義概要】

照明の仕事に必要な機材の深い説明を毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	照明とは？照明の役割と定義
2	日本と西洋の上演芸術について
3	劇場の歴史と機構について
4	仕込みの流れ①
5	劇場とTV照明の違いについて
6	仕込みの流れ②
7	光の三原色について・色フィルターについて
8	舞台照明設備について
9	灯体の種類
10	電気工学について①
11	電気工学について②
12	照明工学について
13	屋外イベント電源・システムについて
14	舞台の一般用語
15	舞台の専門技術用語①
16	舞台の専門技術用語②
17	照明操作システム・調光システム
18	全体を見直し・傾向と対策①
19	全体を見直し・傾向と対策②
20	まとめ①
21	TV照明・スタジオの設備
22	CMグラフィティについて①
23	CMグラフィティについて②
24	照明の役割について・内容分析①
25	照明の役割について・内容分析②
26	安全管理と事故防止①
27	安全管理と事故防止②
28	用語解説①
29	用語解説②
30	業界のこれから①
31	業界のこれから②
32	日経新聞模擬入社問題①
33	日経新聞模擬入社問題②
34	全体を見直し傾向と対策①
35	全体を見直し傾向と対策②
36	まとめ②

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、出席、ノート、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
 授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

照明実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。
 担当教員は長年照明技術者として従事し、芝居や朗読劇など様々な催し物を担当している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コンピュータ I	鎌倉 規匠	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

一般的に社会人として必要になってくるパソコンスキルを身に着け、企画書等の書類作成につなげる

【講義概要】

一台ずつPCを使い、Word/Excel/Power Pointを使いながら、企画書やプレゼン用資料、社内外資料作成を行う

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | Word: 科目概要、スキルチェック、Windows基礎 |
| 2 | Word: Word基礎、文字入力の基礎、ビジネス文書の構成 |
| 3 | Word: あいさつ文、文字の配置と書式設定、表の挿入 |
| 4 | Word: ページ設定、ワードアート、図の挿入 |
| 5 | Word: ページ罫線、テキストボックスの挿入 |
| 6 | Word: 文字の効果と段組み、ページ番号、タブとリーダー |
| 7 | Word: ドロップキャップ、囲い文字、ルビの設定 |
| 8 | Word: 図のスタイルの設定、印刷 |
| 9 | Word: 企画書作成 |
| 10 | Word: ポスター・チラシ作成 |
| 11 | Word: ポスター・チラシ作成 |
| 12 | 中間試験(Word) |
| 13 | 試験返却、解説 |
| 14 | Excel: Excel基礎、表の作成、合計と平均の算出(関数) |
| 15 | Excel: 書式設定、表示形式の設定、行高と列幅の変更 |
| 16 | Excel: 関数 |
| 17 | Excel: 相対参照と絶対参照 |
| 18 | Excel: ヘッダーフッター、ページ設定、印刷 |
| 19 | 前期定期試験(Excel) |
| 20 | 試験返却、解説 |
| 21 | Excel: グラフの作成と編集 |
| 22 | Excel: グラフの作成と編集 |
| 23 | Excel: 並び替えとフィルター |
| 24 | Power Point: Power Point基礎 |
| 25 | Power Point: スライド作成、スライドショー |
| 26 | Power Point: 画面切り替え、クリップアートと図の挿入 |
| 27 | Power Point: ヘッダーとフッター、アニメーションの設定 |
| 28 | Excel: 試験前復習 |
| 29 | 中間試験(Excel、Power Point) |
| 30 | 試験返却、解説 |
| 31 | Power Point: 表の挿入、SmartArtの挿入 |
| 32 | Power Point: スライドマスターの利用 |
| 33 | Power Point: 総合演習 |
| 34 | 後期定期試験(Power Point) |
| 35 | 試験返却、解説 |
| 36 | 総合まとめ |

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、提出物、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

MOS資格を保持。
Word/Excel/Power Pointを中心に一方的にならないよう、学生とのコミュニケーションを計りながら、個々の疑問点を一緒に解決出来るように。更には学生同士でお互いに伸ばし合えるような全員総ブラッシュアップをモットーとしている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	著作権	研井 陽介	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンサートやCD作成にかかわる著作権を学び、イベント企画をしていく際に活かしていく。

【講義概要】

音楽業界に関わる各種権利について、座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	著作権とは
2	音楽業界に関わる様々な権利について①
3	音楽業界に関わる様々な権利について②
4	CDが完成するまでの流れ①
5	CDが完成するまでの流れ①
6	CDが完成するまでの流れ①
7	まとめ①
8	キャラクター・グッズ作成の流れ①
9	コンサートに関わる著作権①
10	コンサートに関わる著作権②
11	チケット転売問題①
12	チケット転売問題②
13	JASRAC
14	SNSに関わる肖像権①
15	SNSに関わる肖像権②
16	音楽・動画の違法ダウンロードについて①
17	音楽・動画の違法ダウンロードについて②
18	まとめ②

【成績評価方法】

後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実際の製造過程や実例を元に座学方式で学ぶ。担当教員はアーティストマネージャー・コンサート制作業務を兼務し、所属会社の母体が弁護士事務所であるため、各種法律にも精通している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニク	長谷川	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 自己紹介。スタッフ希望理由収集 |
| 2 | 各種イベント、コンサートにおけるスタッフが存在意義 |
| 3 | イベントにかかわる全セクションの役割 |
| 4 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 5 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 6 | シミュレーションを取り上げての予算案説明 |
| 7 | まとめ① |
| 8 | 舞台監督の仕事及び、他スタッフとの関係性 |
| 9 | 舞台用語や劇場機構等の基礎知識の講義 |
| 10 | 舞台美術の説明、デザイナーの存在意義 |
| 11 | 「バミリ」の必要性や方法の説明 |
| 12 | グループに分かれての「バミリ」の実践 |
| 13 | まとめ② |
| 14 | イントレ&平台等、基礎舞台作成方法 |
| 15 | 「バミリ」の必要性や方法の説明 |
| 16 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成① |
| 17 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成② |
| 18 | 現場に参加しての感想、意見交換 |
| 19 | 「譜割り」説明および、各セクションにおける必要性 |
| 20 | 「譜割り」の作成 |
| 21 | まとめ③ |
| 22 | 「ローディー(楽器)」の業務内容説明 |
| 23 | 実際の楽器を使つての、ローディー実践。 |
| 24 | マニピレーター、シーケンスを使った同期の説明 |
| 25 | 学祭に向けての役割、セクションの意思確認 |
| 26 | 学祭の反省会 |
| 27 | ステージにおける「特殊効果」とは |
| 28 | 「特殊効果」実践 |
| 29 | クリスマスイベント企画会議。叩き台本(進行表)作成 |
| 30 | クリスマスイベント自主企画の最終台本(進行表)打ち合わせ |
| 31 | クリスマスイベント反省会 |
| 32 | まとめ④ |
| 33 | 「譜割り」の復習とキッカケ |
| 34 | コンサート映像を見ての演出の抽出 |
| 35 | 2年生の卒業制作のための技術予習 |
| 36 | 1年間通してのまとめ及び、演出面でのプロ意識の講義 |

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキル I	小原	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会のルールや社会人としての心構え、マナーを学び実践力を身に着ける

【講義概要】

社会人としてのルールや学校生活を送る中でのルールを座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	一般常識テスト①
3	敬語の使い方①
4	敬語の使い方②
5	一般常識テスト②
6	メールの書き方
7	電話の掛け方
8	一般常識テスト③
9	組織に必要なルールとマナー①
10	組織に必要なルールとマナー②
11	一般常識テスト④
12	チームで働くとは①
13	チームで働くとは②
14	一般常識テスト⑤
15	チームワークを養う I ①
16	チームワークを養う I ②
17	コンサート業界における就職活動①
18	コンサート業界における就職活動②
19	一般常識テスト⑥
20	就職ガイダンス①
21	就職ガイダンス②
22	就職ガイダンス③
23	就職ガイダンス④
24	一般常識テスト⑦
25	履歴書の書き方①
26	履歴書の書き方②
27	一般常識テスト⑧
28	履歴書の書き方③
29	履歴書の書き方④
30	一般常識テスト⑨
31	次年度に向けて① 先輩としての心構え
32	次年度に向けて② 後輩とのチーム作り
33	校内企業説明会①
34	校内企業説明会②
35	校内企業説明会③
36	総評

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1年次より就職に対しての意識を持てるように組織としての働き方から実際の就職活動の流れまでを学ぶ。担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	音響技術 I	櫛田	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクやスピーカー、ケーブルについての理解。実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な音響のスキルを身に付け、音響に対して興味を深める。

【講義概要】

音響の仕事に必要な機材の深い説明をアナログ機材を中心に毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス・PAとは (PAの基本p10～p14/実習・現場での持ち物・服装)
2	PAの世界 (PAの基本p20～p34)
3	PAマンとして (PAの基本p36～p70)
4	PAの現場 (PAの基本p72～p106)
5	まとめ①
6	電気音響1 (直流・交流/テスター/周波数)
7	電気音響2 (抵抗の直・並列/オームの法則/インピーダンス)
8	電気音響3 (バランス・アンバランス/デシベル)
9	電気音響4 (電気とアース)
10	まとめ②
11	音響基礎1 (音の仕組み/音の性質)
12	音響基礎2 (音の三要素＝音程・音圧)
13	音響基礎3 (音の三要素＝音色/エンベロープ)
14	音響基礎4 (音響心理・生理効果・視覚と聴覚)
15	音響基礎5 (音の反射と共鳴/ハウリング)
16	まとめ③
17	音響プラン1 (楽器の略称・記号/回線表・舞台図面)
18	音響プラン2 (仕込み図/スピーカー図面/通線図面)
19	システム1 (マイク～スピーカーまでの信号の流れ/結線図)
20	マイクロフォン1 (マイクの種類と構造)
21	マイクロフォン2 (指向性と用途)
22	マイクロフォン3 (マイクケーブルとスタンド/オプション品)
23	まとめ④
24	ミキサー1 (全体の機能/ブロックダイヤグラム)
25	ミキサー2 (インプットモジュール1)
26	ミキサー3 (インプットモジュール2/アウトプットモジュール)
27	周辺機器1 (GEQ/PEQ/N.Filter)
28	周辺機器2 (空間系/ダイナミクス系)
29	まとめ⑤
30	パワーアンプ (入力/出力/保護回路/DSP)
31	スピーカー1 (ユニット・ドライバーの構造)
32	スピーカー2 (エンクロージャー・ホーン・ネットワーク)
33	スピーカー3 (マルチドライブ/chデバイダー/プロセッサー)
34	スピーカー4 (スピーカープランと安全対策)
35	トラブルシューティング
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

音響実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。
担当教員は長年音響技術者として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場のPAエンジニアとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	イベント制作実習	小原・山本	4単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
25	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物を担当し現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	卒業制作	櫛田 博	12単位・432時間

【授業の到達目標及びテーマ】

卒業制作LIVEの向け、様々なイベント企画を通じ、アナログからデジタルまでの機材、トラブルシューティングなど、即戦力になる人材育成を行う。

【講義概要】

アナログからデジタルまでの機材説明やセッティングを行い、実践でのオペレートを繰り返し行う。

回	授業計画及び学習内容
1	アナログ機材について(復習)
2	デジタル機材について
3	デジタルシステムのメインスピーカーセッティング方法①
4	デジタルシステムのメインスピーカーセッティング方法②
5	デジタル卓 説明①
6	デジタル卓 説明②
7	デジタルシステムのモニタースピーカーセッティング方法①
8	デジタルシステムのモニタースピーカーセッティング方法②
9	デジタル卓 説明③
10	転換練習①
11	転換練習②
12	MUSAKO FEST 対策
13	MUSAKO FEST 対策
14	MUSAKO FEST リハーサル
15	MUSAKO FEST 本番
16	MUSAKO FEST 振り返り
17	ラインアレイの設置方法
18	転換練習③
19	TECHNOS祭 対策
20	TECHNOS祭 対策
21	TECHNOS祭 リハーサル
22	TECHNOS祭 本番
23	TECHNOS祭 振り返り
24	ラインアレイの設置方法
25	転換練習④
26	クリスマスイベント 対策
27	クリスマスイベント 対策
28	クリスマスイベント リハーサル
29	クリスマスイベント 本番
30	クリスマスイベント 振り返り
31	転換練習⑤
32	卒業制作 対策
33	卒業制作 対策
34	卒業制作 リハーサル
35	卒業制作 本番
36	卒業制作 振り返り

【成績評価方法】

機材習得の柔軟性や機材セッティング時の協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。
担当教員は30年以上音響技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	2年 前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネス文書	相川奏絵	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

より良い人間関係を築く為、コミュニケーション能力の重要性を知り、社会人としての基本的なマナーや仕事上のマナーを身に付けることを目標とする。

【講義概要】

ビジネスマナーの基礎を学び、社会人としての常識を学ぶ。社会にで出たら教えられないことはない貴重な知識をしっかりと身に付けてほしい。

回	授業計画及び学習内容
1	顧客心理①
2	顧客心理②
3	空間心理①
4	空間心理②
5	苦情処理①
6	苦情処理②
7	テーブルマナー①
8	テーブルマナー②
9	テーブルマナー③
10	冠婚葬祭①
11	冠婚葬祭②
12	社会人として 指示の受け方①
13	社会人として 指示の受け方②
14	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定①
15	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定②
16	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定③
17	定期テスト
18	テスト返却・解説

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

テキストと問題集を参考に、講義と課題作成をミックスした授業である。
担当教員は、長年講師・研究者として、学校教育及び企業向けに従事し、且つマナーに関する上級資格を多数保持し、美しい心と知性・品性を習得した人材育成に向けた授業を展開する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	メディア研究	井野 香織	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

メディアやSNSなどを活用し、現代のニーズに合わせたイベント企画の提案を行い、PDCAを繰り返し行う。

【講義概要】

スマートフォンやパソコンを用い、マーケティングの集計や企画書の作成。
お客様対応でのトラブル対策を考える。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・年間予定確認
2	制作グランドスケジュール
3	ブッキング1
4	ブッキング2
5	ライブハウスについて
6	制作資料作成方法、各メディアの特徴、マーケティングについて
7	ポスター、ポップ、写真を読み取る、広告について
8	イベント企画1
9	イベント企画2
10	企画内容 発表
11	イメージ、メッセージを考える
12	SNSの活用法1
13	SNSの活用法2
14	SNSの活用法3
15	広告物の演出方法1
16	広告物の演出方法2
17	前期末テスト
18	テスト返却・まとめ
19	ホールでの制作について
20	見積り作成・人件費について
21	著作権
22	雑誌、CM、ニュースについて
23	インターネット1
24	インターネット2
25	イベントPR1
26	イベントPR2
27	メールのやり取り1
28	メールのやり取り2
29	ディベート1
30	ディベート2
31	仕事合間のリフレッシュ方法
32	イベント企画1
33	イベント企画2
34	企画内容 発表
35	後期末テスト
36	テスト返却・まとめ

【成績評価方法】

提出物・出席率・授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

コミュニケーションを取り、会話を中心に行う。株式会社オフサイドにて制作・運営として4年勤務し、その後フリーランスで制作関連の仕事を担当。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	音響技術Ⅱ	櫛田 博	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

実習で学びきれない音響に関する知識を身に着け、現場の即戦力となる人材育成をする。

【講義概要】

音響の仕事に必要な機材の深い説明をデジタル機材を中心に毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容	
1	アウトシステム1	(アルファシステム)
2	デジタル1 基礎編	(基礎復習/信号の流れ/M7CL概略)
3	デジタル2 応用編	(ミキサー/ワードクロック/リダンダンシー)
4	デジタル3 伝送編	(ネットワーク/主要プロトコル/ケーブル・コネクタ)
5	チューニング/Rec分岐	(チューニング考え方・方法・測定器/頭分けの仕方)
6	転換プラン	(方法・種類/転換表・香盤表の作り方)
7	現場の流れ/書類	(受注から本番、入金確認・外注支払いまで/事務処理の仕方)
8	マイキング1	(楽器の音・現場で使われるマイクの種類と特徴)
9	マイキング2	(楽器のマイクアレンジ例)
10	エフェクター	(信号処理系/空間系/ダイナミックス系)
11	音響電源(仮説を含む)	(電源容量・アース・電源ノイズ)
12	野外現場	(熱・風・雨天対策・雷等の被害例)
13	音響資料	(現場資料)
14	ワイヤレスシステム	(電波の基礎・アンテナ・周波数計算)
15	機材メンテナンス	(機材のチェック・簡易修理・清掃)
16	色々な音響現場・会社・職種	(芝居・会議・施設管理・設備等)
17	前期末テスト	
18	トラブルシューティング	(トラブル原因の追究・非常時の対応)
19	アウトシステム2	(ポイントソース/ラインアレイ/マルチセルラー)
20	アウトシステム3	(パワーアンプ/プロセッサー/伝送方式)
21	アウトシステム4	(アウトシステムのプランニング)
22	ケーブル&コネクタ	(ケーブルの種類・太さ・許容電流/コネクタの種類・容量)
23	音響に関する法律・規則・資格	(消防・電気・建築・電波・騒音/舞台機構検定)
24	舞台機構検定(学科)1	(3級検定の説明/出題例の対策)
25	舞台機構検定(学科)2	(仮出題)
26	音響基礎1	(音波/波長/距離と遅延)
27	音響基礎2	(音圧計算/距離減衰/AMP利得)
28	音響基礎3	(ケーブル減衰・電力・WL周波数)
29	音響基礎4	(室内音響(残響/共鳴と定在波))
30	電気音響1	(分圧抵抗/インピーダンス/バランス伝送のノイズキャンセリング)
31	電気音響2	(アースとグラウンド/UPSの使用/光ファイバーと取り扱い)
32	電気音響3	(機材スペックの見方/様々な規格)
33	2年間の復習1	
34	2年間の復習2	
35	後期末テスト	
36	テスト返却・まとめ	

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

音響実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。

担当教員は長年音響技術者として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場のPAエンジニアとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ音響コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅡ	山本	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職指導及び社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。

【講義概要】

一般常識テスト、SPIテスト、グループワーク、個人面談、就職指導、業界理解、情報共有など。

回	授業計画及び学習内容
1	1年振り返り/2年ガイダンス
2	2年ガイダンス
3	後輩指導について
4	電話のかけ方
5	メールの送り方
6	PDCAについて
7	一般常識テスト①
8	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究/情報共有
9	就職用提出書類について/企業調査・業界研究/情報共有
10	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
11	SPIテスト①
12	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
13	就職試験(面接)でのポイント・ルール①/企業調査・業界研究/情報共有
14	就職試験(面接)でのポイント・ルール②/企業調査・業界研究/情報共有
15	一般常識テスト②
16	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
17	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
18	就職活動報告・提出書類について/情報共有/個人面談
19	SPIテスト②
20	情報共有/グループワーク
21	情報共有/グループワーク
22	情報共有/グループワーク
23	一般常識テスト③
24	テクノス祭準備/情報共有
25	テクノス祭準備/情報共有
26	テクノス祭準備/情報共有
27	SPIテスト③
28	情報共有/個人面談
29	情報共有/個人面談
30	情報共有/個人面談
31	一般常識テスト④
32	情報共有/グループワーク
33	情報共有/グループワーク
34	情報共有/グループワーク
35	テクノス展準備/情報共有
36	テクノス展準備/情報共有

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

基本講義形式とし、学校行事などの時期により、学生によるミーティングも行う。
担当教員はコンサート・イベント科の専任教員。
音響として現場経験を積み、本校教員となる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	プレゼンテーション	吉田 直木	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

討論の為の課題を中心にして発言と意見交換を活発に行える姿勢を養う授業を行う。グループでイベントの企画・制作・進行管理に携わる姿勢を養うこと。クラス全員のモチベーションの向上と平均化に留意します。また、イベント業界全般に関わる、視野の広い人材育成に努力します。

【講義概要】

自分の意見を積極的に発言擦ることと、人との対話能力を養う基礎訓練。またイベントの企画を考える上でどんな

コンセプトが必要なのか、広い視野を養いつつアイデアを出す訓練を繰り返し行います。また、最近一般的になっているインターネットやスマートホンを情報発信の為のメディアとして取りあげ、情報リテラシー問題を取り上げて論議します。イベント広報についての話につなげて、情報発信をどうしていくべきかを論じます。

回	授業計画及び学習内容
1	コミュニケーションとプレゼンテーションについて
2	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート①
3	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート②
4	働くことについてディベート①
5	働くことについてディベート②
6	報告・連絡・相談(ほうれんそう)について
7	イベントの企画とコンセプトについて講義
8	まとめ①
9	ディベート課題1(資料収集)
10	ディベート課題1(発表)
11	コミュニケーションとメディア論(資料収集)
12	コミュニケーションとメディア論(発表)
13	ディベート課題2(資料収集)
14	ディベート課題2(発表)
15	自己PRについて
16	就職についての意識調査アンケート①
17	就職についての意識調査アンケート②
18	まとめ②

【成績評価方法】

授業内において、議題内容に合わせてディスカッションを行い、その結果を毎回ミニレポート形式にして提出してもらいます。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

課題に対して各自調べ学習を行ってからディスカッション形式で意見交換を行います。美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネスマナー	相川 奏絵	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人の心構えや就活マナーについて学び、実践力を身に着けるとともに、マナープロトコル検定3級取得を目指すします。

【講義概要】

各項目において、グループごとに調べたことを発表していくグループワーク方式で授業を行います。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・研究テーマ抽出と役割分担
2	敬語の使い方①
3	敬語の使い方②
4	メール・手紙の書き方
5	電話対応
6	クレーム対応
7	就活の流れと企業の選び方①
8	就活の流れと企業の選び方②
9	面接対策(身だしなみ・自己PR)①
10	面接対策(身だしなみ・自己PR)②
11	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)①
12	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)②
13	マナープロトコル試験対策①
14	マナープロトコル試験対策②
15	マナープロトコル試験対策③
16	期末テストと自己分析
17	まとめ①
18	まとめ②

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して評価する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

課題に対して各自調べ学習を行ってからディスカッション形式で意見交換を行います。
美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	舞台技術	渡邊 政美	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

業界に進むうえで必ず必要となる舞台機構や尺貫法などを学ぶ。
また、ホール管理者としての働き方を学んでいく。

【講義概要】

舞台機構や舞台の組み方(尺貫法)について、座学方式で学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	世界の劇場の歴史①
2	世界の劇場の歴史②
3	劇場の種類
4	舞台機構について(幕類)
5	舞台機構について(吊りもの関係)
6	舞台機構について(迫り・綱元・操作盤)
7	舞台機構について(反響版・框・プロセ・搬入口)
8	まとめ①
9	ホール管理とは(音響について)
10	ホール管理とは(照明について)
11	ホール管理とは(舞台について)
12	ホール管理とは(その他打ち合わせや事務的仕事について)
13	まとめ②
14	部材について(工具類)
15	部材について(平台・箱馬・開き足など)
16	ホール各所の説明(音響室・調整室)
17	ホール各所の説明(シーリング・フロント・ピンルーム)
18	ホール各所の説明(映写室・親子室・ロビー)
19	まとめ③
20	尺貫法について①
21	尺貫法について②
22	山台の組み方(基礎編)①
23	山台の組み方(基礎編)②
24	山台の組み方(基礎編)③
課題に対	まとめ④
26	山台の組み方(応用編)①
27	山台の組み方(応用編)②
28	山台の組み方(応用編)③
29	舞台用語①
30	舞台用語②
31	まとめ⑤
32	ホールでの催し物について(音楽もの)
33	ホールでの催し物について(芝居関係)
34	ホールでの催し物について(ダンス系)
35	ホールでの催し物について(パッケージもの)
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

プロ音響データブックを使用。舞台の画像や図面を使い舞台の基礎を学ぶ。担当教員はホール管理者の照明技術者として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ミュージックセオリー	森重	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

楽典やコード進行などを学ぶことで、音楽に対する理解を深める。

【講義概要】

キーボードを使用しながら座学方式で音楽理論について学んでいく。

回	授業計画及び学習内容
1	五線譜について(五線と加線)
2	音名について(イタリア語・英語・日本語)
3	音部記号(ト音記号・ヘ音記号など)
4	大譜表について
5	小節線について
6	まとめ①
7	音符の種類・音符の長さ
8	休符の種類・休符の長さ
9	拍子とタイ
10	音の強弱
11	音楽記号(繰り返し記号、演奏記号、装飾音)
12	音楽記号(強弱記号、速度記号)
13	まとめ②
14	音階(全音と半音)
15	音階(長音階・メジャースケール①)
16	音階(長音階・メジャースケール②)
17	音階(長音階・メジャースケール③)
18	音階(長音階・メジャースケール④)
19	音階(♯と♭の調号)
20	まとめ③
21	音階(短音階・マイナースケール①)
22	音階(短音階・マイナースケール②)
23	音階(短音階・マイナースケール③)
24	音階(短音階・マイナースケール④)
課題に対	音階(♯と♭の平行調)
26	まとめ④
27	音程とは(長音程・短音程)
28	音程とは(完全音程・増音程・減音程)
29	和音とは(長三和音・メジャー)
30	和音とは(短三和音・マイナー)
31	和音とは(増三和音・オーグメント)
32	和音とは(減三和音・ディミニッシュ)
33	まとめ⑤
34	譜面を書いてみる①
35	譜面を書いてみる②
36	総合まとめ

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
 授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学、映像鑑賞、実際のコードを聞きながら音楽に対する理解を深めていく。
 担当教員は音楽教室の講師資格を持ち、専門学校講師として長年勤務されている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニク	長谷川	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

1	自己紹介。スタッフ希望理由収集
2	クラシックや芝居など、ジャンル別に求められるスタッフの違い
3	イベントに関わる全セクションの仕事内容講義
4	イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション①
5	イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション②
6	シミュレーションを取り上げての、予算案説明。
7	まとめ①
8	スケジュールの作成方法
9	舞台で使用する道具や、寸法の説明。
10	平面図の見方及び、作成方法
11	グループに分かれて「バミリ」の実践
12	グループに分かれて「バミリ」の実践
13	イントレ&平台等、基礎舞台作成方法
14	「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成①
15	「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成②
16	まとめ②
17	スタッフとしての方向性議論
18	「譜割り」の作成方法
19	「譜割り」の作成
20	実際の楽器を使つてのローディー実践
21	実際の楽器を使つてのローディー実践
22	マネージャー、シーケンスを使つた同期の実践
23	まとめ③
24	学祭へ向けての現場テクニクの復讐
課題に対	学祭の反省会
26	「特殊効果」の種類と消防法
27	「特殊効果」の種類と消防法の実践
28	クリスマスイベント 全セクション合同打ち合わせ
29	クリスマスイベント 自主企画の最終技術打ち合わせ
30	クリスマスイベント反省会
31	まとめ④
32	演出で求められる「キッカケ」
33	コンサート映像を見ての、進行表の作り方
34	2年生の卒業制作のための技術予習
35	1年間通してのまとめ及び、技術面でのプロ意識の講義
36	まとめ⑤

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コミュニケーション英会話	マーク	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ネイティブの先生との会話を通じて、英会話スキル・コミュニケーション能力の向上を目指します。

【講義概要】

クラス全員と教員でグループディスカッション形式で授業を行う。簡単な挨拶から日常会話英語まで幅広く語学を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	会話・ディスカッション(挨拶編)①
2	会話・ディスカッション(挨拶編)②
3	会話・ディスカッション(挨拶編)③
4	会話・ディスカッション(挨拶編)④
5	会話・ディスカッション(挨拶編)⑤
6	会話・ディスカッション(挨拶編)⑥
7	会話・ディスカッション(挨拶編)⑦
8	小テスト①
9	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑧
10	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑨
11	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑩
12	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑪
13	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑫
14	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑬
15	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑭
16	小テスト②
17	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑮
18	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑯
19	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑰
20	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑱
21	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑲
22	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑳
23	会話・ディスカッション(旅行・交通編)㉑
24	小テスト②
課題に対	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
26	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
27	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
28	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
29	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
30	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
31	会話・ディスカッション(病院・マナー編)⑮
32	小テスト②
33	会話・ディスカッション(ビジネス編)⑮
34	会話・ディスカッション(ビジネス編)⑮
35	会話・ディスカッション(ビジネス編)⑮
36	会話・ディスカッション(ビジネス編)⑮

【成績評価方法】

小テスト、前・後期テスト、出席率、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各授業でテーマとなる資料を配布し、それに関する会話中の単語や言い回しを学びます。担当教員はネイティブの英会話教員として長く勤務している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門課程	PA実習	浜田 勇太	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	実習上の注意、前期・後期発表日取り
2	PA基礎①(最低限でのBOSEセット、世の中でのPA、ケーブル巻き)
3	PA基礎②(客席の想定したBOSEセット、TBの音出し)
4	PA基礎③(CDの音出し、各種チェック)
5	PA基礎④(G.EQを使用してチューニング)
6	PA基礎⑤(マイクスタンドの取り扱い)
7	PA実践①(モニターとは)
8	PA実践②(バンド想定 of 仕込み)
9	PA実践③(マイクアレンジ)
10	PA実践④(バンド想定 of 仕込み①)
11	PA実践⑤(バンド想定 of 仕込み②)
12	PA実践⑥(サウンドチェック①)
13	セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
14	セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
15	リハーサル①
16	リハーサル②
17	GP
18	本番
19	後期に向けて
20	PA実践⑧ 3Wayシステム
21	PA実践⑨ ラージコンソール(MH4)
22	PA実践⑩ 生楽器とコンデンサーマイク
23	PA実践⑪ モニター卓
24	PA実践⑫ バンド想定
課題に対	PA実践⑬ イントレ仕込み
26	PA実践⑭ バンド想定・転換①
27	PA実践⑮ バンド想定・転換②
28	PA実践⑯ 芝居想定(集音・タタキ)①
29	PA実践⑰ 芝居想定(集音・タタキ)②
30	PA実践⑱ バンド想定・転換
31	PA実践⑲ バンド想定
32	リハーサル①
33	リハーサル②
34	期末試験・GP
35	本番
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は20年以上音響技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明実習	小原 翼	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	実習上の注意、前期・後期発表日取り
2	灯体の吊り方
3	回路について
4	色について
5	サス・バトンについて
6	灯体の種類①(PARライト)・仕込み
7	灯体の種類②(凸・フレネル)・仕込み
8	灯体の種類③(ITO)・仕込み
9	灯体の種類④(ソースフォー)・仕込み
10	灯体の種類⑤(ミニプル)・仕込み
11	灯体の種類⑥(LH・UHL)・仕込み
12	灯体の種類⑦(ミラーボール)・仕込み
13	セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
14	セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
15	リハーサル①
16	リハーサル②
17	GP
18	本番
19	後期に向けて
20	スモークについて・仕込み
21	SSについて・仕込み
22	フロント/シーリングについて・仕込み
23	仮設電源について・仕込み
24	卓の説明・仕込み
課題に対	イントレ仕込み
26	PINスポットについて・仕込み
27	星球/ストロボについて・仕込み
28	Footについて・仕込み
29	フル仕込み・明かり作り(パレード)
30	フル仕込み・明かり作り(アップテンポ)
31	フル仕込み・明かり作り(芝居)
32	リハーサル①
33	リハーサル②
34	期末試験・GP
35	本番
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	制作実習	小原・山本	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
課題に対	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物にて担当していた。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明技術Ⅰ	柳戸 勲	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

灯体や、電気基礎、業界用語についての理解。

実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な照明のスキルを身に付け、照明に対して興味を深める。

【講義概要】

照明の仕事に必要な機材の深い説明を毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	照明とは？照明の役割と定義
2	日本と西洋の上演芸術について
3	劇場の歴史と機構について
4	仕込みの流れ①
5	劇場とTV照明の違いについて
6	仕込みの流れ②
7	光の三原色について・色フィルターについて
8	舞台照明設備について
9	灯体の種類
10	電気工学について①
11	電気工学について②
12	照明工学について
13	屋外イベント電源・システムについて
14	舞台の一般用語
15	舞台の専門技術用語①
16	舞台の専門技術用語②
17	照明操作システム・調光システム
18	全体を見直し・傾向と対策①
19	全体を見直し・傾向と対策②
20	まとめ①
21	TV照明・スタジオの設備
22	CMグラフィティについて①
23	CMグラフィティについて②
24	照明の役割について・内容分析①
課題に対	照明の役割について・内容分析②
26	安全管理と事故防止①
27	安全管理と事故防止②
28	用語解説①
29	用語解説②
30	業界のこれから①
31	業界のこれから②
32	日経新聞模擬入社問題①
33	日経新聞模擬入社問題②
34	全体を見直し傾向と対策①
35	全体を見直し傾向と対策②
36	まとめ②

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、出席、ノート、授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

照明実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。

担当教員は長年照明技術者として従事し、芝居や朗読劇など様々な催し物を担当している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コンピュータ I	鎌倉 規匠	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

一般的に社会人として必要になってくるパソコンスキルを身に着け、企画書等の書類作成につなげる

【講義概要】

一台ずつPCを使い、Word/Excel/Power Pointを使いながら、企画書やプレゼン用資料、社内外資料作成を行う

回	授業計画及び学習内容
---	------------

1	Word: 科目概要、スキルチェック、Windows基礎
2	Word: Word基礎、文字入力の基礎、ビジネス文書の構成
3	Word: あいさつ文、文字の配置と書式設定、表の挿入
4	Word: ページ設定、ワードアート、図の挿入
5	Word: ページ罫線、テキストボックスの挿入
6	Word: 文字の効果と段組み、ページ番号、タブとリーダー
7	Word: ドロップキャップ、囲い文字、ルビの設定
8	Word: 図のスタイルの設定、印刷
9	Word: 企画書作成
10	Word: ポスター・チラシ作成
11	Word: ポスター・チラシ作成
12	中間試験(Word)
13	試験返却、解説
14	Excel: Excel基礎、表の作成、合計と平均の算出(関数)
15	Excel: 書式設定、表示形式の設定、行高と列幅の変更
16	Excel: 関数
17	Excel: 相対参照と絶対参照
18	Excel: ヘッダーフッター、ページ設定、印刷
19	前期定期試験(Excel)
20	試験返却、解説
21	Excel: グラフの作成と編集
22	Excel: グラフの作成と編集
23	Excel: 並び替えとフィルター
24	Power Point: Power Point基礎
課題に対	Power Point: スライド作成、スライドショー
26	Power Point: 画面切り替え、クリップアートと図の挿入
27	Power Point: ヘッダーとフッター、アニメーションの設定
28	Excel: 試験前復習
29	中間試験(Excel、Power Point)
30	試験返却、解説
31	Power Point: 表の挿入、SmartArtの挿入
32	Power Point: スライドマスターの利用
33	Power Point: 総合演習
34	後期定期試験(Power Point)
35	試験返却、解説
36	総合まとめ

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、提出物、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

MOS資格を保持。

Word/Excel/Power Pointを中心に一方的にならないよう、学生とのコミュニケーションを計りながら、個々の疑問点を一緒に解決出来るように。更には学生同士でお互いに伸ばし合えるような全員総ブラッシュアップをモットーとしている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	著作権	研井 陽介	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンサートやCD作成にかかわる著作権を学び、イベント企画をしていく際に活かしていく。

【講義概要】

音楽業界に関わる各種権利について、座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	著作権とは
2	音楽業界に関わる様々な権利について①
3	音楽業界に関わる様々な権利について②
4	CDが完成するまでの流れ①
5	CDが完成するまでの流れ①
6	CDが完成するまでの流れ①
7	まとめ①
8	キャラクター・グッズ作成の流れ①
9	コンサートに関わる著作権①
10	コンサートに関わる著作権②
11	チケット転売問題①
12	チケット転売問題②
13	JASRAC
14	SNSに関わる肖像権①
15	SNSに関わる肖像権②
16	音楽・動画の違法ダウンロードについて①
17	音楽・動画の違法ダウンロードについて②
18	まとめ②

【成績評価方法】

後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

課題に対して各自調べ学習を行ってからディスカッション形式で意見交換を行います。

美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニク	長谷川	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

1	自己紹介。スタッフ希望理由収集
2	各種イベント、コンサートにおけるスタッフが存在意義
3	イベントにかかわる全セクションの役割
4	イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション①
5	イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション①
6	シミュレーションを取り上げての予算案説明
7	まとめ①
8	舞台監督の仕事及び、他スタッフとの関係性
9	舞台用語や劇場機構等の基礎知識の講義
10	舞台美術の説明、デザイナーの存在意義
11	「バミリ」の必要性や方法の説明
12	グループに分かれての「バミリ」の実践
13	まとめ②
14	イントレ&平台等、基礎舞台作成方法
15	「バミリ」の必要性や方法の説明
16	「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成①
17	「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成②
18	現場に参加しての感想、意見交換
19	「譜割り」説明および、各セクションにおける必要性
20	「譜割り」の作成
21	まとめ③
22	「ローディー(楽器)」の業務内容説明
23	実際の楽器を使つての、ローディー実践。
24	マニピレーター、シーケンスを使った同期の説明
課題に対	学祭に向けての役割、セクションの意思確認
26	学祭の反省会
27	ステージにおける「特殊効果」とは
28	「特殊効果」実践
29	クリスマスイベント企画会議。叩き台本(進行表)作成
30	クリスマスイベント自主企画の最終台本(進行表)打ち合わせ
31	クリスマスイベント反省会
32	まとめ④
33	「譜割り」の復習とキッカケ
34	コンサート映像を見ての演出の抽出
35	2年生の卒業制作のための技術予習
36	1年間通してのまとめ及び、演出面でのプロ意識の講義

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキル I	小原	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会のルールや社会人としての心構え、マナーを学び実践力を身に着ける

【講義概要】

社会人としてのルールや学校生活を送る中でのルールを座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	一般常識テスト①
3	敬語の使い方①
4	敬語の使い方②
5	一般常識テスト②
6	メールの書き方
7	電話の掛け方
8	一般常識テスト③
9	組織に必要なルールとマナー①
10	組織に必要なルールとマナー②
11	一般常識テスト④
12	チームで働くとは①
13	チームで働くとは②
14	一般常識テスト⑤
15	チームワークを養う I ①
16	チームワークを養う I ②
17	コンサート業界における就職活動①
18	コンサート業界における就職活動②
19	一般常識テスト⑥
20	就職ガイダンス①
21	就職ガイダンス②
22	就職ガイダンス③
23	就職ガイダンス④
24	一般常識テスト⑦
課題に対	履歴書の書き方①
26	履歴書の書き方②
27	一般常識テスト⑧
28	履歴書の書き方③
29	履歴書の書き方④
30	一般常識テスト⑨
31	次年度に向けて① 先輩としての心構え
32	次年度に向けて② 後輩とのチーム作り
33	校内企業説明会①
34	校内企業説明会②
35	校内企業説明会③
36	総評

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1年次より就職に対しての意識を持てるように組織としての働き方から実際の就職活動の流れまでを学ぶ。担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	音響技術 I	櫛田	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクやスピーカー、ケーブルについての理解。実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な音響のスキルを身に付け、音響に対して興味を深める。

【講義概要】

音響の仕事に必要な機材の深い説明をアナログ機材を中心に毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス・PAとは (PAの基本p10～p14/実習・現場での持ち物・服装)
2	PAの世界 (PAの基本p20～p34)
3	PAマンとして (PAの基本p36～p70)
4	PAの現場 (PAの基本p72～p106)
5	まとめ①
6	電気音響1 (直流・交流/テスター/周波数)
7	電気音響2 (抵抗の直・並列/オームの法則/インピーダンス)
8	電気音響3 (バランス・アンバランス/デシベル)
9	電気音響4 (電気とアース)
10	まとめ②
11	音響基礎1 (音の仕組み/音の性質)
12	音響基礎2 (音の三要素＝音程・音圧)
13	音響基礎3 (音の三要素＝音色/エンベロープ)
14	音響基礎4 (音響心理・生理効果・視覚と聴覚)
15	音響基礎5 (音の反射と共鳴/ハウリング)
16	まとめ③
17	音響プラン1 (楽器の略称・記号/回線表・舞台図面)
18	音響プラン2 (仕込み図/スピーカー図面/通線図面)
19	システム1 (マイク～スピーカーまでの信号の流れ/結線図)
20	マイクロフォン1 (マイクの種類と構造)
21	マイクロフォン2 (指向性と用途)
22	マイクロフォン3 (マイクケーブルとスタンド/オプション品)
23	まとめ④
24	ミキサー1 (全体の機能/ブロックダイヤグラム)
課題に対	ミキサー2 (インプットモジュール1)
26	ミキサー3 (インプットモジュール2/アウトプットモジュール)
27	周辺機器1 (GEQ/PEQ/N.Filter)
28	周辺機器2 (空間系/ダイナミクス系)
29	まとめ⑤
30	パワーアンプ (入力/出力/保護回路/DSP)
31	スピーカー1 (ユニット・ドライバーの構造)
32	スピーカー2 (エンクロージャー・ホーン・ネットワーク)
33	スピーカー3 (マルチドライブ/chデバイダー/プロセッサー)
34	スピーカー4 (スピーカープランと安全対策)
35	トラブルシューティング
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

音響実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。
担当教員は長年音響技術者として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場のPAエンジニアとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	イベント制作実習	小原・山本	4単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
課題に対	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物を担当し現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	卒業制作	宮澤 正志	12単位・432時間

【授業の到達目標及びテーマ】

卒業制作LIVEの向け、様々なイベント企画を通じ、アナログからデジタルまでの機材、トラブルシューティングなど、即戦力になる人材育成を行う。

【講義概要】

アナログからデジタルまでの機材説明やセッティングを行い、実践でのオペレートを繰り返し行う。

回	授業計画及び学習内容
1	アナログ機材について(復習)
2	デジタル機材について
3	デジタル卓 説明①
4	デジタル卓 説明②
5	LEDについて①
6	LEDについて②
7	ムービングライトについて①
8	ムービングライトについて②
9	仮設電源について
10	仮設電源について
11	ピンスポットライトの操作方法 応用編
12	MUSAKO FEST 対策
13	MUSAKO FEST 対策
14	MUSAKO FEST リハーサル
15	MUSAKO FEST 本番
16	MUSAKO FEST 振り返り
17	レーザーについて①
18	レーザーについて②
19	TECHNOS祭 対策
20	TECHNOS祭 対策
21	TECHNOS祭 リハーサル
22	TECHNOS祭 本番
23	TECHNOS祭 振り返り
24	特殊なセッティング方法について
課題に対	ピンスポットライトの操作方法 応用編
26	クリスマスイベント 対策
27	クリスマスイベント 対策
28	クリスマスイベント リハーサル
29	クリスマスイベント 本番
30	クリスマスイベント 振り返り
31	特殊なセッティング方法について
32	卒業制作 対策
33	卒業制作 対策
34	卒業制作 リハーサル
35	卒業制作 本番
36	卒業制作 振り返り

【成績評価方法】

機材習得の柔軟性や機材セッティング時の協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は30年以上照明技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにて照明オペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	卒業制作	宮澤 正志	12単位・432時間

【授業の到達目標及びテーマ】

卒業制作LIVEの向け、様々なイベント企画を通じ、アナログからデジタルまでの機材、トラブルシューティングなど、即戦力になる人材育成を行う。

【講義概要】

アナログからデジタルまでの機材説明やセッティングを行い、実践でのオペレートを繰り返し行う。

回	授業計画及び学習内容
1	アナログ機材について(復習)
2	デジタル機材について
3	デジタル卓 説明①
4	デジタル卓 説明②
5	LEDについて①
6	LEDについて②
7	ムービングライトについて①
8	ムービングライトについて②
9	仮設電源について
10	仮設電源について
11	ピンスポットライトの操作方法 応用編
12	MUSAKO FEST 対策
13	MUSAKO FEST 対策
14	MUSAKO FEST リハーサル
15	MUSAKO FEST 本番
16	MUSAKO FEST 振り返り
17	レーザーについて①
18	レーザーについて②
19	TECHNOS祭 対策
20	TECHNOS祭 対策
21	TECHNOS祭 リハーサル
22	TECHNOS祭 本番
23	TECHNOS祭 振り返り
24	特殊なセッティング方法について
課題に対	ピンスポットライトの操作方法 応用編
26	クリスマスイベント 対策
27	クリスマスイベント 対策
28	クリスマスイベント リハーサル
29	クリスマスイベント 本番
30	クリスマスイベント 振り返り
31	特殊なセッティング方法について
32	卒業制作 対策
33	卒業制作 対策
34	卒業制作 リハーサル
35	卒業制作 本番
36	卒業制作 振り返り

【成績評価方法】

機材習得の柔軟性や機材セッティング時の協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は30年以上照明技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにて照明オペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	メディア研究	井野 香織	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

メディアやSNSなどを活用し、現代のニーズに合わせたイベント企画の提案を行い、PDCAを繰り返し行う。

【講義概要】

スマートフォンやパソコンを用い、マーケティングの集計や企画書の作成。
お客様対応でのトラブル対策を考える。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・年間予定確認
2	制作グランドスケジュール
3	ブッキング1
4	ブッキング2
5	ライブハウスについて
6	制作資料作成方法、各メディアの特徴、マーケティングについて
7	ポスター、ポップ、写真を読み取る、広告について
8	イベント企画1
9	イベント企画2
10	企画内容 発表
11	イメージ、メッセージを考える
12	SNSの活用法1
13	SNSの活用法2
14	SNSの活用法3
15	広告物の演出方法1
16	広告物の演出方法2
17	前期末テスト
18	テスト返却・まとめ
19	ホールでの制作について
20	見積り作成・人件費について
21	著作権
22	雑誌、CM、ニュースについて
23	インターネット1
24	インターネット2
課題に対	イベントPR1
26	イベントPR2
27	メールのやり取り1
28	メールのやり取り2
29	ディベート1
30	ディベート2
31	仕事合間のリフレッシュ方法
32	イベント企画1
33	イベント企画2
34	企画内容 発表
35	後期末テスト
36	テスト返却・まとめ

【成績評価方法】

提出物・出席率・授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

コミュニケーションを取り、会話を中心に行う。株式会社オフサイドにて制作・運営として4年勤務し、その後フリーランスで制作関連の仕事を担当。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	照明技術Ⅱ	山岡 葵	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

灯体(LEDやムービング)や操作卓、電気基礎、業界用語についての理解。
 実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、デジタル機材を中心に現場で働くうえで必要な照明のスキルを身に付け、照明に対して興味を深める。

【講義概要】

照明の仕事に必要な機材の深い説明を毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	1年次復習&テスト
2	舞台用語・機材の呼称1
3	舞台用語・機材の呼称2
4	回路について
5	曲のとらえ方
6	DMXについて
7	デジタル機材について1
8	デジタル機材について2
9	卓 フェーダー表について
10	卓 LTP/HTPについて
11	卓 レイアウトについて
12	卓 アドリブ操作について
13	電源について1
14	電源について2
15	プランニングについて1
16	プランニングについて2
17	前期末テスト
18	テスト返却・まとめ
19	色について(混色など)
20	工具の使い方
21	トラブルシューティング1
22	トラブルシューティング2
23	トラブルシューティング3
24	曲のとらえ方1
課題に対	曲のとらえ方2
26	ライブハウス現場について1
27	ライブハウス現場について2
28	ホール現場について1
29	ホール現場について2
30	アリーナ・ドーム現場について3
31	アリーナ・ドーム現場について4
32	5年後、10年後の自分にメッセージ
33	2年間の復習1
34	2年間の復習2
35	後期末テスト
36	テスト返却・まとめ

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
 授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

照明実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。
 担当教員は照明技術者として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の照明エンジニアとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ照明コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅡ	山本	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職指導及び社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。

【講義概要】

一般常識テスト、SPIテスト、グループワーク、個人面談、就職指導、業界理解、情報共有など。

回	授業計画及び学習内容
1	1年振り返り/2年ガイダンス
2	2年ガイダンス
3	後輩指導について
4	電話のかけ方
5	メールの送り方
6	PDCAについて
7	一般常識テスト①
8	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究/情報共有
9	就職用提出書類について/企業調査・業界研究/情報共有
10	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
11	SPIテスト①
12	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
13	就職試験(面接)でのポイント・ルール①/企業調査・業界研究/情報共有
14	就職試験(面接)でのポイント・ルール②/企業調査・業界研究/情報共有
15	一般常識テスト②
16	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
17	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
18	就職活動報告・提出書類について/情報共有/個人面談
19	SPIテスト②
20	情報共有/グループワーク
21	情報共有/グループワーク
22	情報共有/グループワーク
23	一般常識テスト③
24	テクノス祭準備/情報共有
課題に対	テクノス祭準備/情報共有
26	テクノス祭準備/情報共有
27	SPIテスト③
28	情報共有/個人面談
29	情報共有/個人面談
30	情報共有/個人面談
31	一般常識テスト④
32	情報共有/グループワーク
33	情報共有/グループワーク
34	情報共有/グループワーク
35	テクノス展準備/情報共有
36	テクノス展準備/情報共有

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

基本講義形式とし、学校行事などの時期により、学生によるミーティングも行う。
担当教員はコンサート・イベント科の専任教員。
音響として現場経験を積み、本校教員となる。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	プレゼンテーション	吉田 直木	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

討論の為の課題を中心にして発言と意見交換を活発に行える姿勢を養う授業を行う。グループでイベントの企画・制作・進行管理に携わる姿勢を養うこと。クラス全員のモチベーションの向上と平均化に留意します。また、イベント業界全般に関わる、視野の広い人材育成に努力します。

【講義概要】

自分の意見を積極的に発言擦ることと、人との対話能力を養う基礎訓練。またイベントの企画を考える上でどんな

コンセプトが必要なのか、広い視野を養いつつアイデアを出す訓練を繰り返し行います。また、最近一般的になっているインターネットやスマートホンを情報発信の為のメディアとして取りあげ、情報リテラシー問題を取り上げて論議します。イベント広報についての話につなげて、情報発信をどうしていくべきかを論じます。

回	授業計画及び学習内容
1	コミュニケーションとプレゼンテーションについて
2	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート①
3	エンターテインメントコンテンツをテーマにディベート②
4	働くことについてディベート①
5	働くことについてディベート②
6	報告・連絡・相談(ほうれんそう)について
7	イベントの企画とコンセプトについて講義
8	まとめ①
9	ディベート課題1(資料収集)
10	ディベート課題1(発表)
11	コミュニケーションとメディア論(資料収集)
12	コミュニケーションとメディア論(発表)
13	ディベート課題2(資料収集)
14	ディベート課題2(発表)
15	自己PRについて
16	就職についての意識調査アンケート①
17	就職についての意識調査アンケート②
18	まとめ②

【成績評価方法】

授業内において、議題内容に合わせてディスカッションを行い、その結果を毎回ミニレポート形式にして提出してもらいます。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

課題に対して各自調べ学習を行ってからディスカッション形式で意見交換を行います。美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネスマナー	相川 奏絵	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人の心構えや就活マナーについて学び、実践力を身に着けるとともに、マナープロトコル検定3級取得を目指すします。

【講義概要】

各項目において、グループごとに調べたことを発表していくグループワーク方式で授業を行います。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・研究テーマ抽出と役割分担
2	敬語の使い方①
3	敬語の使い方②
4	メール・手紙の書き方
5	電話対応
6	クレーム対応
7	就活の流れと企業の選び方①
8	就活の流れと企業の選び方②
9	面接対策(身だしなみ・自己PR)①
10	面接対策(身だしなみ・自己PR)②
11	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)①
12	自己管理(感情のコントロール・時間の使い方)②
13	マナープロトコル試験対策①
14	マナープロトコル試験対策②
15	マナープロトコル試験対策③
16	期末テストと自己分析
17	まとめ①
18	まとめ②

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して評価する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

学生が興味のあるテーマごとにチームに分かれ、調べ学習から発表までを行う。
担当教員は、長年講師・研究者として、学校教育及び企業向けに従事し、且つマナーに関する上級資格を多数保持し、美しい心と知性・品性を習得した人材育成に向けた授業を展開する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	舞台技術	渡邊 政美	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

業界に進むうえで必ず必要となる舞台機構や尺貫法などを学ぶ。
また、ホール管理者としての働き方を学んでいく。

【講義概要】

舞台機構や舞台の組み方(尺貫法)について、座学方式で学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	世界の劇場の歴史①
2	世界の劇場の歴史②
3	劇場の種類
4	舞台機構について(幕類)
5	舞台機構について(吊りもの関係)
6	舞台機構について(迫り・綱元・操作盤)
7	舞台機構について(反響版・框・プロセ・搬入口)
8	まとめ①
9	ホール管理とは(音響について)
10	ホール管理とは(照明について)
11	ホール管理とは(舞台について)
12	ホール管理とは(その他打ち合わせや事務的仕事について)
13	まとめ②
14	部材について(工具類)
15	部材について(平台・箱馬・開き足など)
16	ホール各所の説明(音響室・調整室)
17	ホール各所の説明(シーリング・フロント・ピンルーム)
18	ホール各所の説明(映写室・親子室・ロビー)
19	まとめ③
20	尺貫法について①
21	尺貫法について②
22	山台の組み方(基礎編)①
23	山台の組み方(基礎編)②
24	山台の組み方(基礎編)③
25	まとめ④
26	山台の組み方(応用編)①
27	山台の組み方(応用編)②
28	山台の組み方(応用編)③
29	舞台用語①
30	舞台用語②
31	まとめ⑤
32	ホールでの催し物について(音楽もの)
33	ホールでの催し物について(芝居関係)
34	ホールでの催し物について(ダンス系)
35	ホールでの催し物について(パッケージもの)
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

筆記テスト・受講態度・実技態度・提出物・出席状況を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

プロ音響データブックを使用。舞台の画像や図面を使い舞台の基礎を学ぶ。担当教員はホール管理者の照明技術者として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ミュージックセオリー	森重	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

楽典やコード進行などを学ぶことで、音楽に対する理解を深める。

【講義概要】

キーボードを使用しながら座学方式で音楽理論について学んでいく。

回	授業計画及び学習内容
1	五線譜について(五線と加線)
2	音名について(イタリア語・英語・日本語)
3	音部記号(ト音記号・ヘ音記号など)
4	大譜表について
5	小節線について
6	まとめ①
7	音符の種類・音符の長さ
8	休符の種類・休符の長さ
9	拍子とタイ
10	音の強弱
11	音楽記号(繰り返し記号、演奏記号、装飾音)
12	音楽記号(強弱記号、速度記号)
13	まとめ②
14	音階(全音と半音)
15	音階(長音階・メジャースケール①)
16	音階(長音階・メジャースケール②)
17	音階(長音階・メジャースケール③)
18	音階(長音階・メジャースケール④)
19	音階(＃と♭の調号)
20	まとめ③
21	音階(短音階・マイナースケール①)
22	音階(短音階・マイナースケール②)
23	音階(短音階・マイナースケール③)
24	音階(短音階・マイナースケール④)
25	音階(＃と♭の平行調)
26	まとめ④
27	音程とは(長音程・短音程)
28	音程とは(完全音程・増音程・減音程)
29	和音とは(長三和音・メジャー)
30	和音とは(短三和音・マイナー)
31	和音とは(増三和音・オーグメント)
32	和音とは(減三和音・ディミニッシュ)
33	まとめ⑤
34	譜面を書いてみる①
35	譜面を書いてみる②
36	総合まとめ

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
 授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学、映像鑑賞、実際のコードを聞きながら音楽に対する理解を深めていく。
 担当教員は音楽教室の講師資格を持ち、専門学校講師として長年勤務されている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニック	長谷川	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 自己紹介。スタッフ希望理由収集 |
| 2 | クラシックや芝居など、ジャンル別に求められるスタッフの違い |
| 3 | イベントに関わる全セクションの仕事内容講義 |
| 4 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 5 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション② |
| 6 | シミュレーションを取り上げての、予算案説明。 |
| 7 | まとめ① |
| 8 | スケジュールの作成方法 |
| 9 | 舞台で使用する道具や、寸法の説明。 |
| 10 | 平面図の見方及び、作成方法 |
| 11 | グループに分かれて「バミリ」の実践 |
| 12 | グループに分かれて「バミリ」の実践 |
| 13 | イントレ&平台等、基礎舞台作成方法 |
| 14 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成① |
| 15 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成② |
| 16 | まとめ② |
| 17 | スタッフとしての方向性議論 |
| 18 | 「譜割り」の作成方法 |
| 19 | 「譜割り」の作成 |
| 20 | 実際の楽器を使ってのローディー実践 |
| 21 | 実際の楽器を使ってのローディー実践 |
| 22 | マニピレーター、シーケンスを使った同期の実践 |
| 23 | まとめ③ |
| 24 | 学祭へ向けての現場テクニックの復讐 |
| 25 | 学祭の反省会 |
| 26 | 「特殊効果」の種類と消防法 |
| 27 | 「特殊効果」の種類と消防法の実践 |
| 28 | クリスマスイベント 全セクション合同打ち合わせ |
| 29 | クリスマスイベント 自主企画の最終技術打ち合わせ |
| 30 | クリスマスイベント反省会 |
| 31 | まとめ④ |
| 32 | 演出で求められる「キッカケ」 |
| 33 | コンサート映像を見ての、進行表の作り方 |
| 34 | 2年生の卒業制作のための技術予習 |
| 35 | 1年間通してのまとめ及び、技術面でのプロ意識の講義 |
| 36 | まとめ⑤ |

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コミュニケーション英会話	マーク	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ネイティブの先生との会話を通じて、英会話スキル・コミュニケーション能力の向上を目指します。

【講義概要】

クラス全員と教員でグループディスカッション形式で授業を行う。簡単な挨拶から日常会話英語まで幅広く語学を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	会話・ディスカッション(挨拶編)①
2	会話・ディスカッション(挨拶編)②
3	会話・ディスカッション(挨拶編)③
4	会話・ディスカッション(挨拶編)④
5	会話・ディスカッション(挨拶編)⑤
6	会話・ディスカッション(挨拶編)⑥
7	会話・ディスカッション(挨拶編)⑦
8	小テスト①
9	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑧
10	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑨
11	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑩
12	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑪
13	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑫
14	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑬
15	会話・ディスカッション(食事・買い物編)⑭
16	小テスト②
17	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑮
18	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑯
19	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑰
20	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑱
21	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑲
22	会話・ディスカッション(旅行・交通編)⑳
23	会話・ディスカッション(旅行・交通編)㉑
24	小テスト②
25	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉒
26	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉓
27	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉔
28	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉕
29	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉖
30	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉗
31	会話・ディスカッション(病院・マナー編)㉘
32	小テスト②
33	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉙
34	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉚
35	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉛
36	会話・ディスカッション(ビジネス編)㉜

【成績評価方法】

小テスト、前・後期テスト、出席率、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各授業でテーマとなる資料を配布し、それに関しての会話中の単語や言い回しを学びます。担当教員はネイティブの英会話教員として長く勤務している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門課程	PA実習	浜田 勇太	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	実習上の注意、前期・後期発表日取り
2	PA基礎①(最低限でのBOSEセット、世の中でのPA、ケーブル巻き)
3	PA基礎②(客席の想定したBOSEセット、TBの音出し)
4	PA基礎③(CDの音出し、各種チェック)
5	PA基礎④(G.EQを使用してチューニング)
6	PA基礎⑤(マイクスタンドの取り扱い)
7	PA実践①(モニターとは)
8	PA実践②(バンド想定 of 仕込み)
9	PA実践③(マイクアレンジ)
10	PA実践④(バンド想定 of 仕込み①)
11	PA実践⑤(バンド想定 of 仕込み②)
12	PA実践⑥(サウンドチェック①)
13	セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
14	セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
15	リハーサル①
16	リハーサル②
17	GP
18	本番
19	後期に向けて
20	PA実践⑧ 3Wayシステム
21	PA実践⑨ ラージコンソール(MH4)
22	PA実践⑩ 生楽器とコンデンサーマイク
23	PA実践⑪ モニター卓
24	PA実践⑫ バンド想定
25	PA実践⑬ イントレ仕込み
26	PA実践⑭ バンド想定・転換①
27	PA実践⑮ バンド想定・転換②
28	PA実践⑯ 芝居想定(集音・タタキ)①
29	PA実践⑰ 芝居想定(集音・タタキ)②
30	PA実践⑱ バンド想定・転換
31	PA実践⑲ バンド想定
32	リハーサル①
33	リハーサル②
34	期末試験・GP
35	本番
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は20年以上音響技術者として従事し、音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明実習	小原 翼	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する

【講義概要】

学内ホールを使用し実習を行う。

回	授業計画及び学習内容
1	実習上の注意、前期・後期発表日取り
2	灯体の吊り方
3	回路について
4	色について
5	サス・バトンについて
6	灯体の種類①(PARライト)・仕込み
7	灯体の種類②(凸・フレネル)・仕込み
8	灯体の種類③(ITO)・仕込み
9	灯体の種類④(ソースフォー)・仕込み
10	灯体の種類⑤(ミニブル)・仕込み
11	灯体の種類⑥(LH・UHL)・仕込み
12	灯体の種類⑦(ミラーボール)・仕込み
13	セクションに分かれて仕込み①(RH/本番の流れについて)
14	セクションに分かれて仕込み②(RH/本番の流れについて)
15	リハーサル①
16	リハーサル②
17	GP
18	本番
19	後期に向けて
20	スモークについて・仕込み
21	SSについて・仕込み
22	フロント/シーリングについて・仕込み
23	仮設電源について・仕込み
24	卓の説明・仕込み
25	イントレ仕込み
26	PINスポットについて・仕込み
27	星球/ストロボについて・仕込み
28	Footについて・仕込み
29	フル仕込み・明かり作り(パレード)
30	フル仕込み・明かり作り(アップテンポ)
31	フル仕込み・明かり作り(芝居)
32	リハーサル①
33	リハーサル②
34	期末試験・GP
35	本番
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

日頃の成果と前期・後期発表にて評価。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

各回それぞれの仕込み図に従い実習を行っていく。一日のスケジュールを立てるところから開始し、作業全体の流れを習得していく。

担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	制作実習	小原・山本	3単位・108時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
25	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物にて担当していた。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	照明技術 I	柳戸 勲	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

灯体や、電気基礎、業界用語についての理解。

実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な照明のスキルを身に付け、照明に対して興味を深める。

【講義概要】

照明の仕事に必要な機材の深い説明を毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	照明とは？照明の役割と定義
2	日本と西洋の上演芸術について
3	劇場の歴史と機構について
4	仕込みの流れ①
5	劇場とTV照明の違いについて
6	仕込みの流れ②
7	光の三原色について・色フィルターについて
8	舞台照明設備について
9	灯体の種類
10	電気工学について①
11	電気工学について②
12	照明工学について
13	屋外イベント電源・システムについて
14	舞台の一般用語
15	舞台の専門技術用語①
16	舞台の専門技術用語②
17	照明操作システム・調光システム
18	全体を見直し・傾向と対策①
19	全体を見直し・傾向と対策②
20	まとめ①
21	TV照明・スタジオの設備
22	CMグラフィティについて①
23	CMグラフィティについて②
24	照明の役割について・内容分析①
25	照明の役割について・内容分析②
26	安全管理と事故防止①
27	安全管理と事故防止②
28	用語解説①
29	用語解説②
30	業界のこれから①
31	業界のこれから②
32	日経新聞模擬入社問題①
33	日経新聞模擬入社問題②
34	全体を見直し傾向と対策①
35	全体を見直し傾向と対策②
36	まとめ②

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、出席、ノート、授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

照明実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。

担当教員は長年照明技術者として従事し、芝居や朗読劇など様々な催し物を担当している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コンピュータ I	鎌倉 規匠	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

一般的に社会人として必要になってくるパソコンスキルを身に着け、企画書等の書類作成につなげる

【講義概要】

一台ずつPCを使い、Word/Excel/Power Pointを使いながら、企画書やプレゼン用資料、社内外資料作成を行う

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | Word: 科目概要、スキルチェック、Windows基礎 |
| 2 | Word: Word基礎、文字入力の基礎、ビジネス文書の構成 |
| 3 | Word: あいさつ文、文字の配置と書式設定、表の挿入 |
| 4 | Word: ページ設定、ワードアート、図の挿入 |
| 5 | Word: ページ罫線、テキストボックスの挿入 |
| 6 | Word: 文字の効果と段組み、ページ番号、タブとリーダー |
| 7 | Word: ドロップキャップ、囲い文字、ルビの設定 |
| 8 | Word: 図のスタイルの設定、印刷 |
| 9 | Word: 企画書作成 |
| 10 | Word: ポスター・チラシ作成 |
| 11 | Word: ポスター・チラシ作成 |
| 12 | 中間試験(Word) |
| 13 | 試験返却、解説 |
| 14 | Excel: Excel基礎、表の作成、合計と平均の算出(関数) |
| 15 | Excel: 書式設定、表示形式の設定、行高と列幅の変更 |
| 16 | Excel: 関数 |
| 17 | Excel: 相対参照と絶対参照 |
| 18 | Excel: ヘッダーフッター、ページ設定、印刷 |
| 19 | 前期定期試験(Excel) |
| 20 | 試験返却、解説 |
| 21 | Excel: グラフの作成と編集 |
| 22 | Excel: グラフの作成と編集 |
| 23 | Excel: 並び替えとフィルター |
| 24 | Power Point: Power Point基礎 |
| 25 | Power Point: スライド作成、スライドショー |
| 26 | Power Point: 画面切り替え、クリップアートと図の挿入 |
| 27 | Power Point: ヘッダーとフッター、アニメーションの設定 |
| 28 | Excel: 試験前復習 |
| 29 | 中間試験(Excel、Power Point) |
| 30 | 試験返却、解説 |
| 31 | Power Point: 表の挿入、SmartArtの挿入 |
| 32 | Power Point: スライドマスターの利用 |
| 33 | Power Point: 総合演習 |
| 34 | 後期定期試験(Power Point) |
| 35 | 試験返却、解説 |
| 36 | 総合まとめ |

【成績評価方法】

小テスト、期末テスト、提出物、出席、授業態度等を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

MOS資格を保持。

Word/Excel/Power Pointを中心に一方的にならないよう、学生とのコミュニケーションを計りながら、個々の疑問点を一緒に解決出来るように。更には学生同士でお互いに伸ばし合えるような全員総ブラッシュアップをモットーとしている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	著作権	研井 陽介	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンサートやCD作成にかかわる著作権を学び、イベント企画をしていく際に活かしていく。

【講義概要】

音楽業界に関わる各種権利について、座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	著作権とは
2	音楽業界に関わる様々な権利について①
3	音楽業界に関わる様々な権利について②
4	CDが完成するまでの流れ①
5	CDが完成するまでの流れ①
6	CDが完成するまでの流れ①
7	まとめ①
8	キャラクター・グッズ作成の流れ①
9	コンサートに関わる著作権①
10	コンサートに関わる著作権②
11	チケット転売問題①
12	チケット転売問題②
13	JASRAC
14	SNSに関わる肖像権①
15	SNSに関わる肖像権②
16	音楽・動画の違法ダウンロードについて①
17	音楽・動画の違法ダウンロードについて②
18	まとめ②

【成績評価方法】

後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【徴・形式と教員紹介】

実際の製造過程や実例を元に座学方式で学ぶ。担当教員はアーティストマネージャー・コンサート制作業務を兼務し、所属会社の母体が弁護士事務所であるため、各種法律にも精通している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	ステージテクニク	長谷川	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント業界で働く上で、仕事の理解をし、企画を行う上でのスケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人として成長を目的として行っていく。

【講義概要】

現場に必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく。

回	授業計画及び学習内容
---	------------

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 自己紹介。スタッフ希望理由収集 |
| 2 | 各種イベント、コンサートにおけるスタッフが存在意義 |
| 3 | イベントにかかわる全セクションの役割 |
| 4 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 5 | イベント制作業務の講義。イベントのシミュレーション① |
| 6 | シミュレーションを取り上げての予算案説明 |
| 7 | まとめ① |
| 8 | 舞台監督の仕事及び、他スタッフとの関係性 |
| 9 | 舞台用語や劇場機構等の基礎知識の講義 |
| 10 | 舞台美術の説明、デザイナーの存在意義 |
| 11 | 「バミリ」の必要性や方法の説明 |
| 12 | グループに分かれての「バミリ」の実践 |
| 13 | まとめ② |
| 14 | イントレ&平台等、基礎舞台作成方法 |
| 15 | 「バミリ」の必要性や方法の説明 |
| 16 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成① |
| 17 | 「MUSAKO FEST」へ向けての基礎舞台作成② |
| 18 | 現場に参加しての感想、意見交換 |
| 19 | 「譜割り」説明および、各セクションにおける必要性 |
| 20 | 「譜割り」の作成 |
| 21 | まとめ③ |
| 22 | 「ローディー(楽器)」の業務内容説明 |
| 23 | 実際の楽器を使つての、ローディー実践。 |
| 24 | マニピレーター、シーケンスを使った同期の説明 |
| 25 | 学祭に向けての役割、セクションの意思確認 |
| 26 | 学祭の反省会 |
| 27 | ステージにおける「特殊効果」とは |
| 28 | 「特殊効果」実践 |
| 29 | クリスマスイベント企画会議。叩き台本(進行表)作成 |
| 30 | クリスマスイベント自主企画の最終台本(進行表)打ち合わせ |
| 31 | クリスマスイベント反省会 |
| 32 | まとめ④ |
| 33 | 「譜割り」の復習とキッカケ |
| 34 | コンサート映像を見ての演出の抽出 |
| 35 | 2年生の卒業制作のための技術予習 |
| 36 | 1年間通してのまとめ及び、演出面でのプロ意識の講義 |

【成績評価方法】

前期・後期試験、実技態度、出席率を総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

座学や実技などを行い、舞台や制作に関わることを総合的に学ぶ。
担当教員は長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場の舞台監督として活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキル I	小原	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会のルールや社会人としての心構え、マナーを学び実践力を身に着ける

【講義概要】

社会人としてのルールや学校生活を送る中でのルールを座学方式で学ぶ

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス
2	一般常識テスト①
3	敬語の使い方①
4	敬語の使い方②
5	一般常識テスト②
6	メールの書き方
7	電話の掛け方
8	一般常識テスト③
9	組織に必要なルールとマナー①
10	組織に必要なルールとマナー②
11	一般常識テスト④
12	チームで働くとは①
13	チームで働くとは②
14	一般常識テスト⑤
15	チームワークを養う I ①
16	チームワークを養う I ②
17	コンサート業界における就職活動①
18	コンサート業界における就職活動②
19	一般常識テスト⑥
20	就職ガイダンス①
21	就職ガイダンス②
22	就職ガイダンス③
23	就職ガイダンス④
24	一般常識テスト⑦
25	履歴書の書き方①
26	履歴書の書き方②
27	一般常識テスト⑧
28	履歴書の書き方③
29	履歴書の書き方④
30	一般常識テスト⑨
31	次年度に向けて① 先輩としての心構え
32	次年度に向けて② 後輩とのチーム作り
33	校内企業説明会①
34	校内企業説明会②
35	校内企業説明会③
36	総評

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1年次より就職に対しての意識を持てるように組織としての働き方から実際の就職活動の流れまでを学ぶ。担当教員は各種ツアーやイベントにて照明技術者として参加し、現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	音響技術 I	櫛田	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクやスピーカー、ケーブルについての理解。実習では伝えきれない深い内容を補足として行い、全コース共通の為、現場で働くうえで必要な音響のスキルを身に付け、音響に対して興味を深める。

【講義概要】

音響の仕事に必要な機材の深い説明をアナログ機材を中心に毎週テーマを決め、実習にて応用が出来るような内容。

回	授業計画及び学習内容
1	ガイダンス・PAとは (PAの基本p10～p14/実習・現場での持ち物・服装)
2	PAの世界 (PAの基本p20～p34)
3	PAマンとして (PAの基本p36～p70)
4	PAの現場 (PAの基本p72～p106)
5	まとめ①
6	電気音響1 (直流・交流/テスター/周波数)
7	電気音響2 (抵抗の直・並列/オームの法則/インピーダンス)
8	電気音響3 (バランス・アンバランス/デシベル)
9	電気音響4 (電気とアース)
10	まとめ②
11	音響基礎1 (音の仕組み/音の性質)
12	音響基礎2 (音の三要素＝音程・音圧)
13	音響基礎3 (音の三要素＝音色/エンベロープ)
14	音響基礎4 (音響心理・生理効果・視覚と聴覚)
15	音響基礎5 (音の反射と共鳴/ハウリング)
16	まとめ③
17	音響プラン1 (楽器の略称・記号/回線表・舞台図面)
18	音響プラン2 (仕込み図/スピーカー図面/通線図面)
19	システム1 (マイク～スピーカーまでの信号の流れ/結線図)
20	マイクロフォン1 (マイクの種類と構造)
21	マイクロフォン2 (指向性と用途)
22	マイクロフォン3 (マイクケーブルとスタンド/オプション品)
23	まとめ④
24	ミキサー1 (全体の機能/ブロックダイヤグラム)
25	ミキサー2 (インプットモジュール1)
26	ミキサー3 (インプットモジュール2/アウトプットモジュール)
27	周辺機器1 (GEQ/PEQ/N.Filter)
28	周辺機器2 (空間系/ダイナミクス系)
29	まとめ⑤
30	パワーアンプ (入力/出力/保護回路/DSP)
31	スピーカー1 (ユニット・ドライバーの構造)
32	スピーカー2 (エンクロージャー・ホーン・ネットワーク)
33	スピーカー3 (マルチドライブ/chデバイダー/プロセッサー)
34	スピーカー4 (スピーカープランと安全対策)
35	トラブルシューティング
36	まとめ⑥

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

音響実習と関連性があり、実習では学びきれない基礎的な知識を身に着ける。
担当教員は長年音響技術者として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場のPAエンジニアとして活躍している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	1年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門基礎	イベント制作実習	小原・山本	4単位・144時間

【授業の到達目標及びテーマ】

イベント企画を中心にしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	イベントスケジュール確認
2	話し合いの進め方について
3	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)①
4	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)②
5	インターナショナルウィーク学科企画(留学生向けの企画立案)③
6	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)①
7	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)②
8	インターナショナルウィーク学科企画(準備期間)③
9	インターナショナルウィーク学科企画 本番
10	インターナショナルウィーク学科企画を振り返って
11	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)①
12	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)②
13	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)③
14	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画立案(学科企画×3、模擬店×4)④
15	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)①
16	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)②
17	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)③
18	夏休みのスケジュール作成
19	クリスマスツリーデザイン作成①
20	クリスマスツリーデザイン作成②
21	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)④
22	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑤
23	AtoZを使用したイベント企画(10チーム10企画)⑥
24	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)①
25	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)②
26	学内向けクリスマスパーティー(企画立案)③
27	学内向けクリスマスパーティー(準備)①
28	学内向けクリスマスパーティー(準備)②
29	学内向けクリスマスパーティー 本番
30	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
31	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)①
32	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)②
33	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)③
34	TECHNOS展 学科企画(ミュージック科やダンス部発表の場所提供)④
35	今後のイベントの進め方について
36	1年間のまとめ

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

1つのテーマに対して1から企画立案～本番までを行っていく。担当教員は照明技術者・ホール管理者(音響担当)として各種催し物を担当し現在専門学校教員として従事している。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	卒業制作	長谷川 浩二	12単位・432時間

【授業の到達目標及びテーマ】

卒業制作LIVEの向け、様々なイベント企画を通じにしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	機材確認リスト作成(ケータリング・ステージ部材等)
2	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備①
3	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備②
4	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備③
5	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備④
6	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑤
7	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑥
8	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑦
9	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑧
10	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備①
11	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備②
12	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑨
13	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑩
14	MUSAKO FEST リハーサル
15	MUSAKO FEST 本番
16	MUSAKO FEST 振り返り
17	卒業制作 企画打ち合わせ・準備①
18	卒業制作 企画打ち合わせ・準備②
19	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備③
20	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備④
21	TECHNOS祭 リハーサル
22	TECHNOS祭 本番
23	TECHNOS祭 振り返り
24	卒業制作 企画打ち合わせ・準備③
25	卒業制作 企画打ち合わせ・準備④
26	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑤
27	クリスマスイベント 準備・打ち合わせ
28	クリスマスイベント リハーサル
29	クリスマスイベント 本番
30	クリスマスイベント 振り返り
31	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑥
32	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑦
33	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑧
34	卒業制作 リハーサル
35	卒業制作 本番
36	卒業制作 振り返り

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

イベント制作の企画・運営。照明で業界に入り、長年、舞台監督として活躍をしている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネス文書	相川奏絵	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

より良い人間関係を築く為、コミュニケーション能力の重要性を知り、社会人としての基本的なマナーや仕事上のマナーを身に付けることを目標とする。

【講義概要】

ビジネスマナーの基礎を学び、社会人としての常識を学ぶ。社会にで出たら教えられないことはない貴重な知識をしっかりと身に付けてほしい。

回	授業計画及び学習内容
1	顧客心理①
2	顧客心理②
3	空間心理①
4	空間心理②
5	苦情処理①
6	苦情処理②
7	テーブルマナー①
8	テーブルマナー②
9	テーブルマナー③
10	冠婚葬祭①
11	冠婚葬祭②
12	社会人として 指示の受け方①
13	社会人として 指示の受け方②
14	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定①
15	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定②
16	社会人として 仕事への取り組み方・目標設定③
17	定期テスト
18	テスト返却・解説

【成績評価方法】

前・後期テスト、授業出席率、授業取り組みを総合的に勘案して決定する。
授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

テキストと問題集を参考に、講義と課題作成をミックスした授業である。
担当教員は、長年講師・研究者として、学校教育及び企業向けに従事し、且つマナーに関する上級資格を多数保持し、美しい心と知性・品性を習得した人材育成に向けた授業を展開する。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	メディア研究	井野 香織	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

メディアやSNSなどを活用し、現代のニーズに合わせたイベント企画の提案を行い、PDCAを繰り返し行う。

【講義概要】

スマートフォンやパソコンを用い、マーケティングの集計や企画書の作成。
お客様対応でのトラブル対策を考える。

回	授業計画及び学習内容
1	自己紹介・年間予定確認
2	制作グランドスケジュール
3	ブッキング1
4	ブッキング2
5	ライブハウスについて
6	制作資料作成方法、各メディアの特徴、マーケティングについて
7	ポスター、ポップ、写真を読み取る、広告について
8	イベント企画1
9	イベント企画2
10	企画内容 発表
11	イメージ、メッセージを考える
12	SNSの活用法1
13	SNSの活用法2
14	SNSの活用法3
15	広告物の演出方法1
16	広告物の演出方法2
17	前期末テスト
18	テスト返却・まとめ
19	ホールでの制作について
20	見積り作成・人件費について
21	著作権
22	雑誌、CM、ニュースについて
23	インターネット1
24	インターネット2
25	イベントPR1
26	イベントPR2
27	メールのやり取り1
28	メールのやり取り2
29	ディベート1
30	ディベート2
31	仕事合間のリフレッシュ方法
32	イベント企画1
33	イベント企画2
34	企画内容 発表
35	後期末テスト
36	テスト返却・まとめ

【成績評価方法】

提出物・出席率・授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

コミュニケーションを取り、会話を中心に行う。株式会社オフサイドにて制作・運営として4年勤務し、その後フリーランスで制作関連の仕事を担当。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	コンピュータⅡ	永江	2単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

自分達のイベントのロゴやイラストの作成など、ポスター、チラシのデザインを行い、オンラインで入稿も行う。

【講義概要】

デジタル画像編集ソフトウェアPhotoshopやグラフィックソフトIllustratorを用い、ソフトの使用方法和デザインの基礎を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容
1	講義概要・MACについて
2	MACの基本操作1
3	MACの基本操作2
4	Photoshop 説明と操作1
5	Photoshop 説明と操作2
6	Photoshop 説明と操作3
7	Photoshop 画像の切り取り1
8	Photoshop 画像の切り取り2
9	Photoshop 画像の編集1
10	Photoshop 画像の編集2
11	Photoshop 作品作成1
12	Photoshop 作品作成2
13	Photoshop 作品作成3
14	Photoshop 作品作成4
15	Photoshop 作品作成5
16	作品提出
17	Illustrator 説明と操作1
18	Illustrator 説明と操作2
19	Illustrator 説明と操作3
20	Illustrator 機能操作1
21	Illustrator 機能操作2
22	Illustrator 機能操作3
23	卒業制作ポスターデザイン1
24	卒業制作ポスターデザイン2
25	卒業制作ポスターデザイン3
26	卒業制作ポスターデザイン4
27	卒業制作フライヤーデザイン1
28	卒業制作フライヤーデザイン2
29	卒業制作フライヤーデザイン3
30	卒業制作フライヤーデザイン4
31	Photoshop/Illustratorを用いて作品制作1
32	Photoshop/Illustratorを用いて作品制作2
33	Photoshop/Illustratorを用いて作品制作3
34	Photoshop/Illustratorを用いて作品制作4
35	Photoshop/Illustratorを用いて作品制作5
36	作品提出

【成績評価方法】

提出物・出席率・授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。提出物、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

イベント用ポスター・フライヤーの作成を行う。社寺仏閣修復業(彩色担当)に10年勤め、その後広告代理店にてデザイン業務経験を持つ。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	プレゼンテーションⅡ	吉田 直木	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

メディアやSNSなどを活用し、現代のニーズに合わせたプレゼンテーションを行い、アイデアや発想力を養う。

【講義概要】

スマートホンやパソコンを用い、マーケティングやPR、ディベートを行う。

回	授業計画及び学習内容
1	コミュニケーションについて
2	報告連絡相談について 意義と方法論 (SNS/HP)
3	イベントの企画とコンセプトについて
4	ディベート議題 1
5	ディベート議題 2
6	シュミレーション課題1 コンセプト
7	シュミレーション課題1 調査結果の発表・情報交換
8	シュミレーション課題1 面白さや感動についての検証
9	シュミレーション課題1 イベントの方法論について
10	シュミレーション課題1 マーケティングについて
11	シュミレーション課題1 イベントPRについて
12	シュミレーション課題1 新しい方法論を考慮して検証
13	学内イベント(MUSAKO FEST)についてのディベート 1
14	学内イベント(MUSAKO FEST)についてのディベート 2
15	学内イベント(MUSAKO FEST)についてのディベート 3
16	ディベート議題 3
17	ディベート議題 4
18	就職活動対策
19	学内イベント(TECHNOS祭)についてのディベート 1
20	学内イベント(TECHNOS祭)についてのディベート 2
21	学内イベント(TECHNOS祭)についてのディベート 3
22	シュミレーション課題2 コンセプト
23	シュミレーション課題2 調査結果の発表・情報交換
24	シュミレーション課題2 面白さや感動についての検証
25	シュミレーション課題2 イベントの方法論について
26	シュミレーション課題2 マーケティングについて
27	シュミレーション課題2 イベントPRについて
28	シュミレーション課題2 新しい方法論を考慮して検証
29	ディベート議題 5
30	ディベート議題 6
31	学内イベント(TECHNOS展)についてのディベート 1
32	学内イベント(TECHNOS展)についてのディベート 2
33	学内イベント(TECHNOS展)についてのディベート 3
34	ディベート議題 7
35	ディベート議題 8
36	まとめ

【成績評価方法】

提出物・出席率・授業態度等を総合的に勘案して決定する。

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

学生の視野を広げる事を目的として授業を行う。

美術大学デザイン科にて主に映像とデザインによる情報伝達のコンセプトワークを専攻しており、広告代理店勤務を経てイベントや商品の広報宣伝業務に就く。プレゼンテーションは企画宣伝会議において実務経験を高めてきたものである。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
専門応用	イベント企画・制作	長谷川 浩二	4単位・72時間

【授業の到達目標及びテーマ】

卒業制作LIVEの向け、様々なイベント企画を通じにしてコミュニケーションやスケジュール管理などをイベントを通じて体感し、PDCAを繰り返し授業・実習を行う。
また、グループワークにおいて必要なスキルを身に付け、個人でも企画を立案できるような人材育成。
本授業にて企画した案件を「卒業制作」授業にて実践する。

【講義概要】

各イベントにおいて内容が異なり、目的のニーズに合わせたイベントの企画・立案をし、プレゼンを行う。
また、企画・立案時にはアクティブラーニングを行い、学生同士の意見交換をし、発想力を養っていく。

回	授業計画及び学習内容
1	機材確認リスト作成(ケータリング・ステージ部材等)
2	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備①
3	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備②
4	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備③
5	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備④
6	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑤
7	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑥
8	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑦
9	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑧
10	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備①
11	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備②
12	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑨
13	MUSAKO FEST 企画打ち合わせ・準備⑩
14	MUSAKO FEST リハーサル
15	MUSAKO FEST 本番
16	MUSAKO FEST 振り返り
17	卒業制作 企画打ち合わせ・準備①
18	卒業制作 企画打ち合わせ・準備②
19	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備③
20	TECHNOS祭 企画打ち合わせ・準備④
21	TECHNOS祭 リハーサル
22	TECHNOS祭 本番
23	TECHNOS祭 振り返り
24	卒業制作 企画打ち合わせ・準備③
25	卒業制作 企画打ち合わせ・準備④
26	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑤
27	クリスマスイベント 準備・打ち合わせ
28	クリスマスイベント リハーサル
29	クリスマスイベント 本番
30	クリスマスイベント 振り返り
31	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑥
32	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑦
33	卒業制作 企画打ち合わせ・準備⑧
34	卒業制作 リハーサル
35	卒業制作 本番
36	卒業制作 振り返り

【成績評価方法】

イベント立案時の柔軟性や発想力・協調性、また本番時の行動力・コミュニケーション能力等を客観的に判断し、評価を行う。授業全体を100点満点として採点する。授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

イベント制作の企画・運営。照明で業界に入り、長年、舞台監督として活躍をしている。

開講課程	開講学科・コース	開講年度	履修対象
芸術・専門課程	コンサート・イベント科 ステージ制作コース	2019年度	2年 通年
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
一般教養	ビジネススキルⅡ	山本	2単位・36時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職指導及び社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。

【講義概要】

一般常識テスト、SPIテスト、グループワーク、個人面談、就職指導、業界理解、情報共有など。

回	授業計画及び学習内容
1	1年振り返り/2年ガイダンス
2	2年ガイダンス
3	後輩指導について
4	電話のかけ方
5	メールの送り方
6	PDCAについて
7	一般常識テスト①
8	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究/情報共有
9	就職用提出書類について/企業調査・業界研究/情報共有
10	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
11	SPIテスト①
12	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究/情報共有
13	就職試験(面接)でのポイント・ルール①/企業調査・業界研究/情報共有
14	就職試験(面接)でのポイント・ルール②/企業調査・業界研究/情報共有
15	一般常識テスト②
16	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
17	企業調査・業界研究/情報共有/個人面談
18	就職活動報告・提出書類について/情報共有/個人面談
19	SPIテスト②
20	情報共有/グループワーク
21	情報共有/グループワーク
22	情報共有/グループワーク
23	一般常識テスト③
24	テクノス祭準備/情報共有
25	テクノス祭準備/情報共有
26	テクノス祭準備/情報共有
27	SPIテスト③
28	情報共有/個人面談
29	情報共有/個人面談
30	情報共有/個人面談
31	一般常識テスト④
32	情報共有/グループワーク
33	情報共有/グループワーク
34	情報共有/グループワーク
35	テクノス展準備/情報共有
36	テクノス展準備/情報共有

【成績評価方法】

授業全体を100点満点として採点する。レポート、授業への参加・意欲・姿勢、出席率、それぞれ換算し合計点数で成績評価を行う。成績が59点以下、または出席率が80%以上を満たさない学生には科目理解を目的とした補講を課す。

【授業の特徴・形式と教員紹介】

基本講義形式とし、学校行事などの時期により、学生によるミーティングも行う。

担当教員はコンサート・イベント科の専任教員。

音響として現場経験を積み、本校教員となる。